2026 年 1 月 19 日

第 64 回 関西財界セミナー 開催概要

公益社団法人 関西経済連合会
一般社団法人 関西経済同友会

第 64 回関西財界セミナーの開催概要につきましては、下記の通りと致しましたので、ご案内申し上げます。

記

1. 基本認識

第 64 回関西財界セミナーは、「新たなステージへの挑戦～関西が描く持続可能な未来社会～」をテーマに、京都で開催いたします。

「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマのもとに開催された大阪・関西万博は、成功裡に終えることができました。そして、万博の理念をレガシーとして継承、発展させ、大阪・関西ひいては日本を成長軌道に乗せ、世界へ広げていくという新たなステージにおいて、われわれ経済人が果たす役割は極めて重要です。

国際社会においては、さまざまな地政学的競争の激化に伴い、国際秩序の先行きに不透明感が増しており、国内では人口減少・少子高齢化社会という課題に直面しています。こうした情勢のもと、外国人材を含む多様な人材が活躍できる環境をいかに構築するか、地域活性化や企業経営にスポーツの持つ力をどう活かすか、万博を契機に高まった「関西」の知名度を広域観光の推進にどのように結び付けるか、進展著しい AI の技術革新をどう活用するか、といった課題についてもさまざまな角度から光をあて、企業・政府・自治体がそれぞれの立場から連携し、持続可能な社会の実現に向けた具体的な行動を起こすことが求められています。

このような認識のもと、課題解決に向けた実践的な議論を尽くすために、本セミナーでは6つの分科会を設けました。ご参加者の皆さまにとって、関西そして日本の新たな挑戦への一歩を考える機会となれば幸甚に存じます。

2. 日　時　2026 年 2 月 5 日(木)・6 日(金)

3. 場　所　国立京都国際会館

4. テーマ　新たなステージへの挑戦～関西が描く持続可能な未来社会～

5. 主　催　(公社)関西経済連合会、(一社)関西経済同友会

6. 協　力　大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所
(公財)関西生産性本部、(一社)京都経済同友会、(一社)神戸経済同友会

7. 当日スケジュール(予定)

2／5 [第1日]	10:00～10:05	5分	開会(国歌斉唱)
	10:05～10:15	10 分	開会挨拶(永井代表幹事)
	10:15～10:30	15 分	主催者問題提起(松本会長)
	10:30～11:40	70 分	基調講演 石黒　浩 大阪大学大学院　基礎工学研究科教授・栄誉教授、 2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)　テーマ事業プロデューサー、 AVITA 株式会社　代表取締役社長 CEO/CTO
	11:45～12:35	50 分	昼　食
	12:40～14:40	120 分	分科会討議(第1セッション)
	14:40～15:00	20 分	休　憩
	15:00～17:00	120 分	分科会討議(第2セッション)
	17:10～18:00	50 分	交流会
2／6 [第2日]	09:00～10:40	100 分	分科会討議(第3セッション)
	10:40～11:00	20 分	休　憩
	11:00～12:20	80 分	分科会討議(第4セッション)
	12:25～13:25	60 分	昼　食
	13:30～14:10	40 分	関西財界セミナー賞 2026 贈呈式
	14:20～15:20	60 分	特別講演 二宮　清純 スポーツジャーナリスト、 株式会社スポーツコミュニケーションズ　代表取締役
	15:30～16:00	30 分	分科会議長報告
	16:00～16:10	10 分	顧問団代表所感(堀場会頭)
	16:10～16:20	10 分	主催者声明・閉会挨拶(三笠代表幹事)
	16:30～16:50	20 分	主催者代表記者会見
	16:30～17:20	50 分	懇親パーティ

8. タイムテーブルと各分科会の概要

（敬称略）

2月5日（木）

◆全体会議　　［ 10:00～11:40 ］

（1）開　会

（2）開会挨拶　　一般社団法人関西経済同友会 代表幹事　　永 井 靖 二

（3）主催者問題提起　公益社団法人関西経済連合会 会長　　松 本 正 義

（4）基調講演

演題：「アバターと未来社会」

講師：大阪大学大学院　基礎工学研究科教授・栄誉教授、
2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）テーマ事業プロデューサー、
AVITA 株式会社　代表取締役社長 CEO/CTO

石 黒　　浩

◆昼　食　　［ 11:45～12:35 ］

◆分科会討議　［ 12:40～17:00／2月 6 日（金）午前に続く ］

第1分科会：いのち輝く日本のビジョン～万博を終えて社会実装を考える～

「いのち輝く未来社会のデザイン」を掲げた大阪・関西万博は、人類共通の課題解決と持続可能な社会の実現に向け、多様な知見と技術が集結する壮大な機会であった。万博がもたらした、あるいは万博を機に再認識した変化やその兆しをとらえ、価値観・モノ・コトをいかに社会に根付かせるかが鍵となる。私たちが描く「いのち輝く日本のビジョン」とはどのようなものか。企業・経済人は何を実践し、いかにして世界へ広げていくのか。関西から、いのち輝く未来社会をデザインする道筋を議論する。

セッション構成：①万博がもたらしたもの、見えてきた変化やその兆し
②関西発 いのち輝く日本のビジョン ～何を万博レガシーとするのか～
③万博後の社会実装に向けた企業・経済人の役割・行動

議　　長　株式会社三菱総合研究所 執行役員 渉外担当　　高 橋 朋 幸
株式会社三井住友銀行 代表取締役副頭取執行役員　　道 岡 俊 浩

問題提起者　株式会社日本総合研究所
調査部長/チーフエコノミスト/主席研究員　　石 川 智 久
パナソニック ホールディングス株式会社 執行役員　　小 川 理 子

備考：同友会担当

第2分科会：KANSAI ブランド確立に向けたポスト万博における新たな観光とまちづくり

大阪・関西万博の成果として、KANSAI の知名度の向上などが挙げられるが、今後、KANSAI ブランドを確立し持続的な関西経済の発展につなげていくために、関西の強みをいかに伸ばし、産業振興や投資拡大に結び付けていくのか。また、そのために関西の魅力をより高める広域観光、戦略的な MICE の誘致・創出、観光を支え、産業発展につながるまちづくりに向けて関西が一体となって取り組むべき方策について議論を行う。

セッション構成：①投資・人流を呼び込む万博レガシーの継承と KANSAI ブランド確立の方向
②ポスト万博の戦略実現に向けた新たな関西 MICE への取り組み
③観光新時代を支えるまちづくり

議　　長	株式会社コングレ　代表取締役社長	武　内　紀　子
	西日本旅客鉄道株式会社　代表取締役会長	長谷川　一　明
問題提起者	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会　副事務総長	高　科　　淳
	東京女子大学　現代教養学部教授	矢ケ崎　紀　子
	和歌山大学　副学長・経済学部教授	足　立　基　浩

備考：関経連担当

第3分科会：人口減少を見据えた新しい社会・経済の形

わが国の少子化は深刻であり、人口減少を完全に止めることは難しい。そうしたなか、人口減少が社会・経済におよぼす影響に対し、適切に対応していくことが求められている。

そこで、本分科会では、人口動態の現状や将来展望、想定される課題について認識共有をしたうえで、人口減少を見据えた新たな社会・経済のあり方を、多角的な視点から模索する。そして、それを実現するために、国や地域、企業は何をなすべきかを議論し、持続可能な未来への道筋を探る。

セッション構成：①人口動態の現状、展望、想定される課題　～日本・関西への影響～
②人口減少社会への適応　～国・地域がなすべきこと～
③人口減少社会への適応　～企業がなすべきこと～

議　　長	ボストン　コンサルティング　グループ　日本共同代表	内　田　有希昌
	株式会社三菱UFJ銀行　取締役副頭取執行役員　西日本駐在	早乙女　　実
問題提起者	株式会社日本総合研究所　調査部主席研究員	藻　谷　浩　介
	京都大学公共政策大学院　教授	諸　富　　徹
	内閣官房 人口戦略本部・全世代型社会保障構築本部事務局　総括事務局長	山　崎　史　郎

備考：同友会担当

第4分科会：外国人材の受け入れ・活躍と地域社会との共生を考える

人手不足を背景に、外国人材の受け入れ拡大が進んでいる。産業構造の変化や人口減少の加速をふまえると、外国人材をイノベーションの源泉や地域活性化のパートナーとしてとらえ、国籍に関わらず、個人の能力を最大限に発揮できる環境を構築していくことが求められる。外国人材の受け入れ・活躍と地域社会との共生に向け、企業はどういった役割を果たしていくのか、また、政府や自治体にはどのような政策を求めていくのか。本分科会では、関西がヒトを惹きつける舞台をめざすため、主に外国人材の観点から議論を進める。

セッション構成：①外国人材の受け入れに関する現状と課題
②外国人材の活躍に向けたダイバーシティ経営のあり方
③地域における共生社会の実現に向けて

議　　長	南海電気鉄道株式会社　代表取締役会長 兼 CEO	遠 北 光 彦
	川崎重工業株式会社　取締役会長	金 花 芳 則
問題提起者	国立社会保障・人口問題研究所　国際関係部 部長	是 川　　夕
	亜細亜大学　アジア研究所　教授	九 門 大 士
	一般社団法人グローバル人財サポート浜松　代表理事	堀　　永 乃

備考：関経連担当

第5分科会：AI 競争時代を生き抜くために～AI 社会における国家・企業の戦略～

AI の急進展、特に LLM（大規模言語モデル）の登場は経済・社会・生活を変革しうる。日本は 2025 年 6 月に「AI 推進法」を施行し本格活用へ舵を切ったが、現場での利活用はなお途上である。各国が開発と実装を争うなか、日本企業が生産性向上や新価値創出を実現できるかが問われている。本分科会では、AI に関する日本の立ち位置と課題を国際競争や社会実装の観点から俯瞰し、ガバナンス、投資、人材の観点から国家と企業の戦略的 AI のあり方を議論する。

セッション構成：①AI 競争時代における日本の立ち位置と課題とは？
②AI がもたらす社会・経済の変革とは？
③AI 社会において政府・企業がなすべきこととは？

議　　長	大同門株式会社　代表取締役社長	フォーリー 淳子
	さくらインターネット株式会社　代表取締役社長	田 中 邦 裕
問題提起者	ULS コンサルティング株式会社　取締役会長	漆 原　　茂
	千葉工業大学　変革センター主席研究員	岡　　瑞 起
	株式会社博報堂 DY ホールディングス 執行役員 Chief AI Officer 兼 Human-Centered AI Institute 代表	森　　正 弥
	株式会社 TRAILBLAZER　代表取締役社長	宮 崎 祐 丞

備考：同友会担当

第6分科会：スポーツで育む企業価値と地域のさらなる発展

スポーツには人間形成（自立性、協調性、リーダーシップ）や地域活性化、健康増進、国際交流促進などさまざまな価値が込められている。また企業でも一体感醸成や健康経営、CSR などスポーツに期待する役割は大きくなっている。一方、地域で産官学が連携し、スポーツ振興をどう担っていくかは重要な課題である。

本分科会では、スポーツが持つ可能性と企業活動との関わりに注目し、企業戦略や社会的価値創出のあり方について議論する。

セッション構成：①スポーツがもたらす可能性
②スポーツ・健康づくりを通じた企業戦略
③地域貢献と企業価値を高めるスポーツ活用

議　　長	京都大学　理事	野 崎 治 子
	住友電気工業株式会社　上席常務執行役員	中 田 将 稔
問題提起者	筑波大学　体育系教授	山 口　　香
	日本郵政株式会社　スポーツ＆コミュニケーション部部長	千 葉 岳 志
	一般社団法人Tリーグ　代表理事 理事長	坂 井 一 也

備考：関経連担当

◆交流会 ［ 17:10～18:00 ］

2月6日（金）

◆分科会討議　［ 9:00～12:20／2月 5 日（木）から継続 ］

◆昼　食　　［ 12:25～13:25 ］

◆全体会議　　［ 13:30～16:20 ］

（1）関西財界セミナー賞 2026 贈呈式

（2）特別講演

演題：「スポーツにみるリーダーシップと地域振興」

講師：スポーツジャーナリスト、株式会社スポーツコミュニケーションズ 代表　　二 宮 清 純

（3）分科会議長報告

（4）顧問団代表所感　　京都商工会議所　会頭　　堀 場　　厚

（5）主催者声明・閉会挨拶　　一般社団法人関西経済同友会　代表幹事　　三 笠 裕 司

◆懇親パーティ ［ 16:30～17:20 ］

（並行して、主催団体トップによる記者会見）

以　上